

京都桂川鍼灸院 *mythos 361*、 京都駅前鍼灸院を開院しました

学院創立90周年事業の一環として、京都市内に「京都桂川鍼灸院 *mythos 361* (ミュトスサンロクイチ)」と「京都駅前鍼灸院」の2院を開院しました。本学学生は、特別料金でのご利用が可能となっておりますので是非ご利用ください。



京都桂川鍼灸院 *mythos 361*

京都駅前鍼灸院

ヘルスケアコース 2,500円～(会員価格は20%off)	料 金	初診料 1,000円 一般治療(20分) 2,000円～
70%	学生減免率	70%
月曜～日曜 9:00～22:00(定休日なし)	営 業 日 時	月曜～日曜 9:30～19:30(12/30～1/4のみ休診)
予約優先制(専用予約サイトまたはお電話)	予 約	完全予約制(お電話のみ(初診は随時受付))
京都市南区久世高田町376-1イオンモール京都桂川 メディモ内	所 在 地	京都市下京区東塩小路町579-1 山崎メディカルビル 地下1階
TEL 075-925-0631(予約専用) / 075-925-0362(その他問合せ)	連 絡 先	TEL 075-371-1189 / FAX 075-371-1190
JR「桂川」駅直結、阪急「洛西口」より徒歩5分	ア ク セ ス	JR「京都」駅中央口より徒歩5分(京都ヨドバシさんより道を挟み南側)

9 >> 10 >> 11 >> 12 >> 1 >> 2 >> 3

<p>September</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オープンキャンパス ● ボルトガル研修2015 ● 合同就職相談会 ● 学生FDサミット2015夏 ● 明治国際医療大学オープンテニス大会 	<p>October</p> <ul style="list-style-type: none"> ● たには祭学園祭 ● 京都学生祭典 ● 創立記念日(3日) ● 陸上競技トップアスリートセミナー 	<p>November</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学院創立90周年記念式典・祝賀会記念シンポジウム ● 講演会 田嶋幸三氏・FIFA理事 日本サッカー協会副会長 ● 日本柔道整復接骨医学学会学術大会 	<p>December</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 冬期休暇 ● 全学横断的シンポジウム 	<p>January</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 冬期休暇 ● 学年末試験 	<p>February</p> <ul style="list-style-type: none"> ● はり師・きゅう師国家試験 ● 看護師・保健師・助産師国家試験 	<p>March</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オープンキャンパス ● 柔道整復師国家試験 ● 卒業式・卒業記念パーティー ● 病院奨学金説明会 ● 全学研究ポスターワークショップ ● 学内研究助成成果発表会
---	--	---	--	---	--	---

明治国際医療大学だより

Meiji University of Integrative Medicine News Letter Vol.11

大学情報誌

スポーツと医療 2つの分野の専門家を輩出

スポーツ振興プロジェクト始動



本学では学院創立90周年記念事業として「スポーツ振興プロジェクト」を立ち上げ、陸上競技(男女)、女子サッカーを軸に、バレーボール(男女)、女子剣道を加えた4クラブを強化指定クラブとして、優秀な指導者を招聘し、京都・南丹の地から全国・世界へと羽ばたく優秀な人材の育成を進めて参ることとなりました。当プロジェクトは、鍼灸・柔道整復の普及・発展及びスポーツを通して、大学並びに地域の活性化を図るとともに、本学の医療大学という特色を活かし、本学にしかできない医療的サポート支援体制のもと「スポーツと医療」の2つの分野のスペシャリストの育成を目指します。また、当プロジェクトの発足に伴い、陸上競技場の改修、サッカー場の人工芝化及び第二グラウンドの整備を行い、平成27年6月に完成しました。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます

4月3日(金)、桜咲く日吉キャンパスにて、平成27年度入学式が執り行われ、鍼灸学部38名、保健医療学部41名、看護学部73名の新生を本学の一員として迎えることができました。式典には多くの来賓の先生方にご臨席いただき、心強いエールを頂戴しました。また、鍼灸学部の池上彰子さんが、新生代表として宣誓を行いました。オリエンテーション最終日の4月8日(水)には、新生歓迎会を実施しました。この歓迎会は学部合同で行うことにより、学部を超えて友人関係を築くことを目的とし、これから始まる大学生活がより充実したものとなるよう毎年実施しています。少し肌寒い気候ではありましたが、学内でネイチャーゲームを行い、昼食は立食パーティーを楽しみました。



大学生活が
楽しみ~!!

教育懇談会を開催します

このたび、保護者の皆様に向けて、本学の就職・進学に関する支援体制の説明及び相談、教育内容全般に関する意見交換を目的とした、教育懇談会を開催いたします。先のご案内にて出席の確認をさせていただいておりますが、当日参加いただくことも可能となっておりますので、この機会にご質問やご相談、ご意見をいただきたくお願ひします。なお、この教育懇談会は次年度以降も開催したいと考えております。

日時: 8月30日(日) 13:00~15:00 場所: ホテル京都エミナース3F

大学機関別認証評価の結果について

全ての大学は、教育及び研究、組織運営並びに施設設備の総合的な状況について、自ら点検・評価を行い、その結果を公表するとともに、政令に定められた期間(7年以内)ごとに、文部科学省の認証を受けた認証評価機関により、評価を受けることが定められています。本学では、平成26(2014)年度に財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、平成27年3月に、「大学評価基準に適合していると認定する」との認定を受けましたのでここで報告させていただきます。本評価結果を謙虚に受け止め、今後さらなる改革と改善を推進し、建学の精神に基づく教育研究活動の更なる充実に努め、高等教育機関としての社会的使命を果たしてまいります。



キャリア支援室をリニューアルしました

学生の就職活動をサポートする「キャリア支援室」を6号館学生窓口横に設置しています。このたび4月に改修工事を行い、利用しやすいようにリニューアルをしました。キャリア支援室では、大学に届いた治療院や病院からの求人情報を地域別、都道府県別に整理することにより、簡単に求人先を探すことができ、さらに室内に設置しているパソコンでも検索ができるようになっています。また、いつでもキャリア担当の教職員と相談ができることから、より学生のニーズに合った就職先を探せるよう努めています。[開室時間: 9:00~17:30(月~金)]

・就職決定率 (H26年度実績)

鍼灸学部	85.7%
保健医療学部	100%
看護学部	100%
大学院	91.6%

・国家試験合格率 (H26年度実績)

鍼灸学部	はり師91.7%
	きゅう師94.4%
保健医療学部	柔道整復師74.1%
看護学部	看護師93.0%
	保健師100%



地域交流会

~ドイツ文化とのふれあい~



8月6日(木)には、ほぎの里ふれあいホーム(南丹市日吉町田原)において、大学と地域との交流を目的として「地域交流会~ドイツ文化とのふれあい~」を開催しました。昨年度に引き続き、ドイツから留学している本学看護学部4年生のラブロウ・セーニャさん(京都府名誉友好大使)により、地域の方々にドイツの四季や文化、名所の紹介が行われ、またドイツ語でじゃんけん大会を行いました。その後は、ドイツのハーブティーやお菓子を味わっていただきながら、地元参加者の方々からラブロウさんへ来日したきっかけや母国と日本との違いなど質問が行われたほか、地元日吉町の魅力を地元の方々からご紹介いただくなど「日本とドイツの相互交流」を行う有意義な機会となりました。

デジタルサイネージを導入しました



日本私立学校振興・共済事業団の特別補助金である、2014年度「私立大学等改革総合支援事業」における「私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金」に採択され、学修支援の充実を目的として、電子掲示板システム「デジタルサイネージ」を導入しました。学内に4台(2号館・6号館・8号館・10号館)設置されており、最新のお知らせ事項や時間割変更の情報などをタッチパネルで確認することができるようになり、学生さんの利便性の向上を図りました。今後も講習会や勉強会の案内等、学修支援情報を随時掲載していきます。

新入生のアドバイザー紹介

こんにちは、大学1期卒業生の廣です。この度、学年アドバイザーとなりました。新入生の講義では、経絡経穴学、鍼灸コミュニケーション入門を担当しています。1年生のみなさんは、個性豊かな学生さんが多く、これからが楽しみです。鍼灸にもっと興味をもてるようサポートします！よろしくお願いします。

廣 正基



学年
アドバイザー



学年
アドバイザー

講義では伝統医学の歴史と哲学。実習では統合医療センターの鍼灸見学実習。また、課外活動では合気道部の部長として、共に〈学・術・道〉を研鑽させて頂いております。

渡邊 勝之



学年
アドバイザー

1年生の今でも、東洋医学的に心と体の調子をみることが少しできます。帰省の際はねぎらいと共に「ちょっとみてよ」と声をかけて、成長ぶりを実感いただければと思います。1年生の東洋医学概論、伝統医学の歴史と哲学を担当しています。

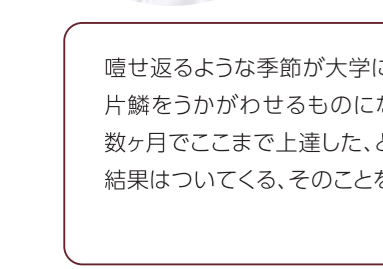
齊藤 宗則



学年
アドバイザー

現在1年生の入門灸技術学実習(前期)と基礎灸技術学実習(後期)を担当しています。本科目ではまず灸法に慣れ親しみつつ基本的な施灸動作を身に付けることを目的としています。

新原 寿志



学年
アドバイザー

嗚呼返るような季節が大学に到来し、1年生のたどたどしい手つきも、鍼灸師としての片鱗をうかがわせるものになってきました。入学当時何もできなかったのに、たった数ヶ月でここまで上達した、と各々が実感しているのではないのでしょうか。努力すれば結果はついてくる、そのことを忘れず充実した大学生活を満喫して欲しいです。

谷口 博志



学年
アドバイザー

新しくアドバイザーになった先生



2年生
担当

2年生の授業科目では「高齢者と福祉」を担当しております。もし、勉強や学生生活などに関して気になることがあれば、気軽に我々アドバイザーに相談してください。

鶴 浩幸



3年生
担当

教員の中では最も年齢が近いので、学生目線に沿ったサポートができるよう頑張りますので、よろしくお願いします。3年生の担当科目は高齢鍼灸学実習です。

福田 晋平

トレーナー部の活動を紹介 ～いざ実践現場&自分の学びを深める～

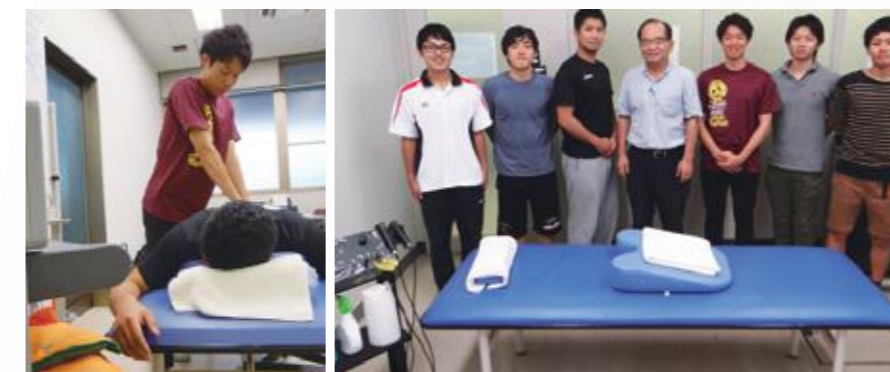
本学では、「スポーツ医療人」を京都から世界へおくりだそうと「スポーツ振興プロジェクト」を開始しました。それにともない、アスリートのケアを通じて実践的な治療家をめざす「トレーナー部」が本年度から始動しました。普段の活動拠点は、体育館に併設されたコンディショニングルーム内ですが、対外的な活動も積極的に行っています。今回は、そのトレーナー部における「第1回京都丹波トライアスロン大会 in 南丹」での活動について紹介します。

「第1回京都丹波トライアスロン大会 in 南丹」スポーツケア活動

7月5日(日)に京都府南丹市の大堰川緑地公園を中心に第1回京都丹波トライアスロン大会 in 南丹が開催されました。トレーナー部に所属する保健医療学部の4年生が2名、3年生が3名、計5名の学生と教員が参加し、スポーツケアブースの運営に携わりました。



「第1回京都丹波トライアスロン大会 in 南丹」での明治国際医療大学スポーツケアブース



トレーナー部のメンバーと顧問の松元隆司先生(中央)



今回のトライアスロン大会でのスポーツケア活動では、大会参加選手や一般観客の方から述べ120名を超えるご利用を頂き、競技終了後には参加された選手の方々が一挙に来られる場面もあり、一時、多くの待ち時間が発生するなど大盛況となりました。その中には、北京五輪にも出場されたプロトライアスロン選手や全国トップクラスの選手もおられ非常に有意義な経験となりました。このような幅広い活動に参加して経験を積むことができたり、講義などで学んだ知識を探索していける環境があるのは、大学ならではの強みだと思います。ぜひ、今年入学された1年生を始め、勉強にも慣れてきた2・3年生もトレーナー活動に参加し、学内だけでなく外の世界に数多く触れ、自分自身の技術や知識に深みを持たせてほしいと思います。

新カリキュラムの集大成である 「看護総合・統合実習」を終えて

新カリキュラム(平成23年10月文科省申請書提出)の集大成として、4年生は領域実習終了後「看護総合・統合実習(必修)」に臨みました。実習目的は、「実習の最終段階として位置づけ、医療チーム内での看護の役割やチームによる看護実践のあり方、および統合医療の要素を看護実践に応用する可能性についても、実習を通して考える機会を持つ」であります。現4年生の助産師コース3名を加えた40名を対象に、4か所の実習施設で、急性期・慢性期・リハビリテーション・小児・精神・在宅看護学の教員15名が担当しました(表参照)。実習内容は総合的・統合的医療の視点からの見学を主としました。毎日の施設見学後のグループワークや、最終日に「グループ発表会」で学生・教員間で共有した学びを紹介します。

■実習施設担当者一覧

施設名	施設長・担当	施設調整
附属鍼灸センター	北小路センター長	寺谷(科目担当)
はぎの里	中村泰三理事長	小倉
統合医療センター	今西センター長	藤田
総合リハビリテーションセンター	平澤教授・松本准教授 木村講師	杉山

■平成27年度「看護総合・統合実習」日程表

G担当	老年(宇城)5G 演習室1	在宅(村上)6G 演習室2	慢性(鈴木)7G 演習室3	小児(大城)8G 演習室4	リハ(松岡)9G 演習室5	精神(梶川)10G 演習室6	急性(原)11G 院生室2
7/6(月)	AM:[31教室]学内講義~看護総合・総合実習オリエンテーション(今井) PM:[21教室、8号館13教室]各施設・各グループオリエンテーション						
7/7(火)	はぎの里(上仲)	附属鍼灸センター(田中)	総合リハビリテーションセンター(河原)	統合医療センター(戸田)			
7/8(水)	附属鍼灸センター(田中)	はぎの里(上仲)	統合医療センター(戸田)	総合リハビリテーションセンター(河原)			
7/9(木)	グループ毎のカンファレンス、グループ発表会の準備(演習室)						
7/10(金)	グループ発表会(今井) PM:[演習室]グループ内まとめ・個人レポート作成 16:30:記録・レポート提出						

まとめ
「心と身体を繋ぐ」
1. 心の健康は身体にも影響している。そして、身体の健康は心にも影響しているという相互関係になっている。
2. 気が沈むと身体が怠くなるなど、決して一方通行ではない。
3. 心を健康にする事で、その人の持つ潜在的治療力を最大限に引き出すことができる。

家族負担、独居
→患者・家族・看護師・ケアマネジャーを一つのチームとして捉える
→社会資源の活用
知識があれば・・・
→患者が治療に伴う選択肢の幅を広げることができる。

多職種連携の現状
・西洋医学の医療従事者が多く鍼灸師が医療に入りにくい。
・診療のカルテも別のものである。
→連携が深くなることで治療の幅が広がりより個別性に合わせた治療を行うことができる。

まとめ①
超高齢社会に突入することでこれからの看護は
↓
在宅や終末期における看護ケアでは患者ばかりでなく家族へのケアやサポートが重要である
↓
薬に頼るばかりでなく統合医療を用いて患者の身体・心理に適切な介入することで自然治癒力を引き出した看護を提供できる
↓
西洋と東洋の医学の融合
↓
患者に対して全人的に(その人らしく)関わることに繋がる

学び
西洋医学だけでなく、東洋医学の診察方法や視点を知っている看護の知識のみではなく東洋医学的思考による、観察技術を加えることができる。このことにより、患者へより良い看護活動が行える。今回の実習で学んだことは本学特有であるため、東洋医学を看護に応用していきたいと考える。

患者主体の医療の必要性
・患者が主体的かつ積極的に治療に取り組むことが出来る
・患者を中心に医療を進めること
↓
患者がより良き健康状態になることが出来る

医療現場から大学教育へ～薬剤耐性菌と感染対策～

医学や医療には日々新しい発見があります。まさに日進月歩の世界です。「少し前の最新知識が、いまはもう時代遅れ」といったことがよくあります。「患者さまのために常に最新の知識を・・・」本学の附属病院の医療スタッフとしばしばそんな会話をします。このニーズに応える形で、7月29日に京都府立医科大学附属病院感染症科の藤田直久先生を迎え、感染予防の講習会が行われました。



話題の中心は薬剤耐性菌と病院内での感染対策で、新しいトピックスを交えつつ、専門的ながらもわかりやすく解説していただきました。100名ほど入る会場はほぼ満席となり、附属病院で働く医師や看護師などの医療スタッフのほか、大学教員や大学院生の参加が目立ち、感染対策への意識の高さがうかがえました。得られた知識は、臨床現場に生かされるだけでなく、講習会に参加した教員を介して学部学生の皆様の教育に還元されます。



講演会の中からワンポイント～手洗いをグレードアップするコツ～

手洗いのポイントは3つあります。1つめは「石けんと流水」です。手の細菌を効果的に減らすには、石けんをしっかりと泡立て流水で洗い流すことが重要です。次は乾燥です。新鮮なタオルやペーパータオルでしっかりと水分を拭きます。水分が残っていると細菌が繁殖しやすくなります。3つめがスキンケアです。荒れた手は細菌が増えやすく、病原菌も定着しやすくなります。手荒れを防ぐため、ハンドクリームやローションを使用しましょう。

